

別冊

おいしいものがたり

～資料館資料編～ ■「近世初期の屏風と絵巻」展より

資料館で開催中の「近世初期の屏風と絵巻」展では、金銀箔を用いたきらびやかな屏風や彩色豊かな絵巻など近世初期を飾る美術品のほか、武家文書など歴史史料を展示しています。その中から、今回は六曲一双『邸内遊楽図屏風』をご紹介します。としたいと思います。

この作品の舞台は貴族の屋形と思われます。室内外で男女が話し込んだり、縁側に佇み庭を眺めたりする様子が描かれています。人物はやまと絵風に描かれているため、絵巻の中から抜け出てきたような趣があります。銀箔が貼られたことで、金箔にはない静謐さが感じられ、貴族邸らしい落ち着いた雰囲気もあります。江戸時代初期頃の制作でしょうか。

日本における「近世」の範囲は主に江戸時代を指していますが、ジャンルによっては戦国時代の後期・安土桃山まで含めることもあります。この時代は新興の戦国大名や豪商が力をつけ仏教勢力が弱まったことで、宗教的な観念から開放された文化が生まれました。絵画でいえば庶民の生活や遊びなどをテーマにした「風俗画」がそれにあたり、織田信長が上杉謙信に贈ったとされる『洛中洛外図』はこの時代を代表する風俗画といえます。上杉本の他にも多数現存する「洛中洛外図」では、その名の通り京都の市街地や郊外の様々な身分・職業の人々が活写されており、それは主に季節のお祭りや年中行事と共に描かれています。

「洛中洛外図」は室町時代から江戸時代にかけて長期間制作されていたようですが、次第に「四条河原図」や「祭礼図」といった風俗画が描かれるようになります。これらは「洛中洛外図」の中から、祭りや行事の一場面、あるいは特定の地域・ランドマークを抜き出した風俗画です。そしてそこから行事性や地域性を取り除いて、単に屋外で遊びに興じる人々を描いた「野外遊楽図」が登場します。今回ご紹介している『邸内遊楽図』はこの「野外遊楽図」からさらに視点を邸の内側にまで絞った作品です。

このように広大な空間から特定の舞台へとクローズアップしていく風俗画の一連の傾向は、近世初期を通じてより深化していきました。「邸内遊楽図」はこの後室内という空間すら取り除かれ、複数の人物のみが描かれるようになります。さらに群像であったものが徐々に人数を減らし、人物単体が主題となるその到達点として、江戸時代に花開いた浮世絵へと収束していくのです。そのような点からも、この『邸内遊楽図』は桃山文化から江戸の文化へと移行していく過渡期・変革期に位置する興味深い作品です。

(大石町立歴史民俗資料館 大谷 俊継)

「近世初期の屏風と絵巻」展は11月22日(日)まで



大石町公式アカウント開設

LINEははじめました

防災情報や各種行政情報を
受け取ることができます。

友だち登録を
お願いします！

登録方法

右の二次元コードを読み
取って友だちに追加して
ください。



大石町公式LINE

防災放送の内容を

電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル：0237-48-8444

■総務課総務グループ TEL35-2111 (内線218)

町の人口 令和8年9月1日現在

世帯数	2,173戸	(－4)
総人口	5,623人	(－23)
男	2,806人	(－10)
女	2,817人	(－13)

(8月中の異動)

出生	0人	転入	3人
死亡	8人	転出	18人

※この人数は外国人も含めたものです。